



山添村
ならではの
民俗資料

大和高原の東端部に位置する山添村は、古来より豊かな資源や自然諸条件を有効に活用することで、独特な発展をしてきました。その潤いある生活を支えてきた民俗資料は数多く存在しますが、館内では次の資料及び住生活の一部を展示しています。

大和茶
【茶かご等】

江戸末期に茶の生産が広がり、明治初年頃より茶園の造成と製茶技法がすすみ生産が盛んになった。機械化された近年は村の基幹作物として発展してきた。



茶 壺



茶つみ籠

木炭

古くから林産業の一つとして各地域で盛んに生産された。江戸時代は特定商人の扱いであったが、明治から自由商いとなり一層発展し、近隣地域に販売された。



大八車での炭の移送



炭俵積み

藤箕
【ふじみ】

江戸時代中頃より遅瀬区で生産され、農具として精巧で耐久力があるため重宝され、近畿一円に行商された。生産には高度な技術を要した。



かつての藤箕の生産

竹器
【ちつき】

副業として発展した竹細工の主体は竹笊(たけざる)で、農具や生活用品として用いられた。広瀬区・片平区・岩屋区において盛んに生産され、近畿以遠の広範囲に行商された。



しょうけ

養蚕

古くから生糸の生産は行われてきた。明治の殖産興業のなかで、養蚕業として桑栽培から製糸技術までの習得により、養蚕地帯として発展した。大正時代には製茶業に代わり全盛となった。



養蚕の暖房器具



昔の製糸作業

ご利用案内

- ◆開館時間 午前9時～午後4時 ※事前予約が必要です。
- ◆休館日 ●毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)
●祝日の翌日・毎年12月25日～1月5日
●その他、館長が定める日
- ◆入館料 無料
- ◆問い合わせ ☎630-2343
奈良県山辺郡山添村大字春日1770番地

アクセス

名阪国道「山添インター」より徒歩15分
奈良交通・三重交通バス「春日学園前」下車すぐ
近鉄名張駅より車で30分

山添村歴史民俗資料館

波多野公民館

TEL/FAX 0743・85・0250

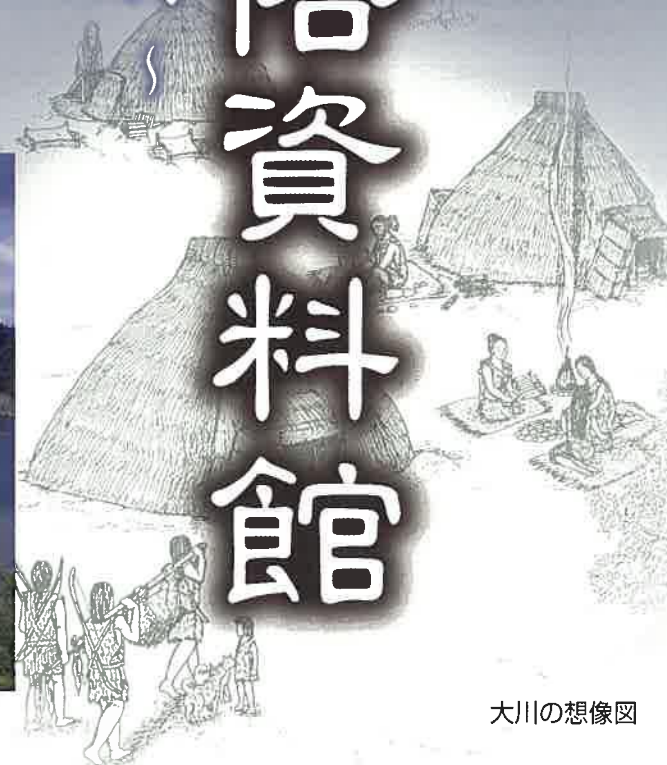


大川式押型文土器▶



▲大川遺跡遠景

山添村
歴史民俗資料館
発掘から継承へ



大川の想像図

展示のあらまし



この歴史民俗資料館は、奈良県の文化財として指定を受けた「旧春日小学校講堂」を活用し、館内には、村内から出土した貴重な考古学資料と、村民の皆さんから寄託いただいた民俗資料をわかりやすく展示しています。

山添村の歴史は古く、縄文草創期(1万5千年~1万2千年前)まで遡ることができます。

布目川河岸段丘でダム建設に伴う発掘調査によって、土器・石器などが出土し、太古の人々の生活の跡が明らかとなりました。

また、名張川大川の河岸段丘では、縄文早期(1万2千年~7千年前)の住居跡や集積炉など多数が出土し、考古学上最も早くから開けた土地であったことを裏付けています。

そして、近年の発掘調査でも名張川やその支流各所に縄文や古代の貴重な遺跡・遺物が発見されています。

このように、山添村は「縄文文化発祥の歴史と古代からの伝統文化」がいっぱいの村です。どうぞ、館内や村内の歴史をお楽しみください。

A 和田遺跡(桐山)・ウチカタビロ遺跡(北野)

縄文時代草創期の超一級の遺跡。縄文文化を特徴づける土器・石鏃・石斧の三点がそろって出土した遺跡としては我が国最古級のもの。布目川流域は「縄文文化発祥の谷」といわれている。



隆起線土器(櫻考研)



集石炉



出土分布図
山添村

C 毛原廃寺跡(国指定史跡)

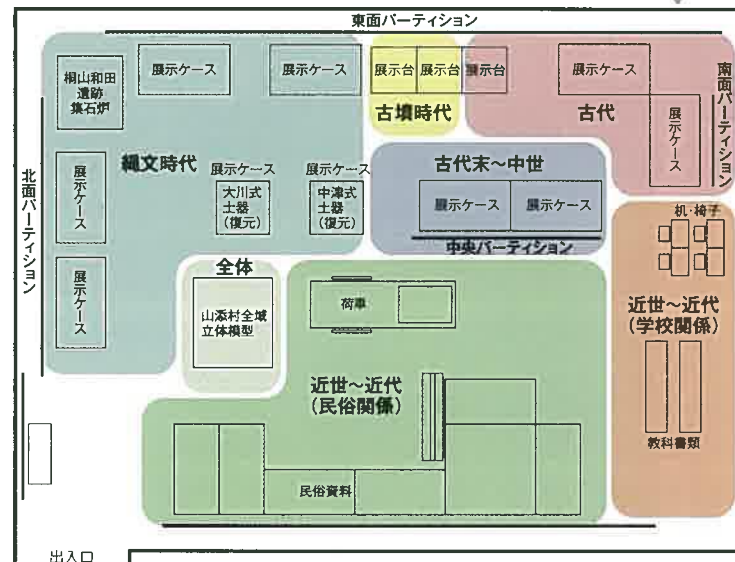
金堂跡、南門跡などの大きな礎石が残り、相当な伽藍を持つ寺院が建立されていたと考えられている。出土した奈良時代の軒丸瓦などは下流の岩屋瓦窯跡で生産された。



金堂跡の礎石



瓦窯跡



館内案内図

B 大川遺跡(中峰山)

名張川が大きく迂回する河岸段丘から縄文早期の遺跡が昭和32年に発掘調査され、住居跡・土器・石器などが多数出土した。



復元された竪穴式住居(カントリーパーク大川)



耳飾



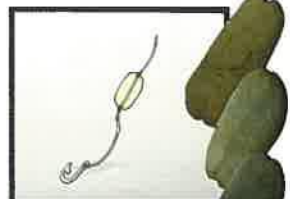
大川式押型土器

D 広瀬遺跡・鵜山遺跡

いずれも縄文早期の遺跡。竪穴住居跡や土器・石器・集石炉などが出土。押型土器の一つ神宮寺式土器など目を見張るものがある。



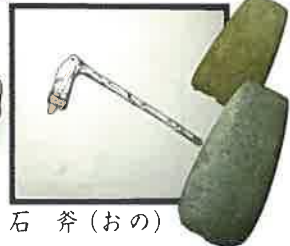
中津式土器



石錘



石鏃



石斧(おの)

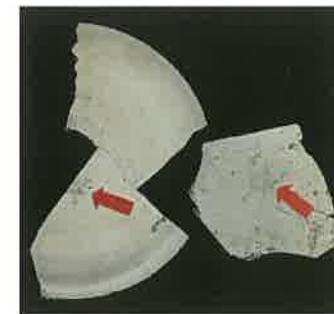
E 上津大片刈遺跡

上津ダム建設にともない発掘された縄文草創期から早期の遺跡。爪型土器が近畿地方では初めて出土した。



石鏃(矢じり)

F 大西塚ノ本遺跡



墨書土器

奈良時代中期から平安時代初頭、この地域は杣地であった。遺跡からは杣人が生活をしたと考えられる住居跡や土器が発掘された。

G 越町遺跡(岩屋)

古墳時代後期(6世紀)の遺跡。竪穴住居跡や掘立柱建物跡、土器などが発掘された。笠間川河岸段丘に生活を営んだ人々の跡が見つかった。



土師器(はじき)